

昨年一月放送開始のNHK大河ドラマ、脚本三谷幸喜、「眞田丸」は平均視聴率16%を超ゆる好成绩と云々。作品の藝術的評價はさて置き、主役堺雅人演ずる主人公眞田信繁の名には或違和感を覺ゆ。

時代考證的にはこの信繁なる人物、大坂冬の陣參戰を機に「幸村」と改名せるは間違ひなかるべし。されど江戸時代以降日本人は大坂冬夏二陣をば經て豊臣家滅亡の歴史を語り繼ぎ、その中にて奮戰討死の英雄「眞田幸村」の名を記憶し來たれり。かかる記憶を民族の文化として我等の世代も亦次世代に繼ぎ行くべく、さればこそ日置昌一著す「日本歴史人名辭典」にも「眞田幸村」を見出しに、幼名源五郎とのみ本文に記し、「信繁」の名を留めざれ。即ち人により、時代により複数の名前混在すべくも、後代にて人口に膾炙せるものを優先的に使用せざれば世代間の語り繼ぎを害ふ虞あり、徒らに「史實」を前面に押し立つるは卻りて民族の記憶を失はしむべし。

かかる感想ありける内に、文部科學省十年振りの學習指導要領改訂の案發表あり。中學校「社會」の「歴史的分野」に「うまやどのわう廢戸王（聖徳太子）の政治」なる表現を見る。これ爾今教科書等に於ては從來の「聖徳太子」の名號は「廢戸王」と表記し、「うまやどのわうと讀ますべしとの謂ひなるべし。其の理由を管窺すらく、「聖徳」の二字、ほつき法起寺塔露盤銘並びに上宮聖徳法王帝説に見ゆるは、太子の薨去後佛徒の唱へたるにや、或いは後人其の徳を讚へて私に尊稱するに出でけむゆゑに之を廢すと。

この改訂案にては、この他にも「大和朝廷」を「大和政權」に、「元寇」を「モンゴルの襲來」と言ひ換へ、「鎖國」の語は使用中止などある一方、我等が明らかに經驗、記憶せる「支那事變」、「大東亞戰爭」の稱は、これら戰役終了後の「日中戰爭」、「太平洋戰爭」の言ひ換へを含めて、全く登場せざるの不自然さもあり。更にこれらに共通するは、唐土との關聯語彙多く、或いは「近隣條項」尊重の措置なるらむか。敢て邪推せば、聖徳太子「やまとすめらみこと東の天皇」より遣はし給ひけるかの遣隋使にも思ひ當る。

然るにても「信繁」に格別反對の聲無かりけるを奇貨として、其の人物の歴史的事件に於ける名前にて表現などと學問的取扱を振翳すこそ笑止なれ。當局者は従前の用語を禁止する意圖は毛頭なしと言ふべくも、教科書、學校に於ける呼稱には檢定を含む強制力あり。「要領」による行政権力行使の實態は今や「個々人の表記にまで及ぼさうとするものではない」筈の常用漢字、現代假名遣を役所の窓口を通じて強制の度専ら激しきに至りつ。懼るらくはかゝる過程を經て「結果として」聖徳太子の憲法十七條或いは明治以降の最高額紙幣にその御名並びに御姿を世々語り繼ぎける文化は消滅すなりと。

特に若し死後の名を認めざれば、弘法大師は無論、果ては御歴代のわりのな諡も教科書の檢定に合格せざらましと恐れ、「睦仁天皇」更には「天皇」を省く呼捨て表記等教科書に躍るを防がむと願ひ、指導要領案に對する「パブリックコメント」を起草す。無論實效は期し難きも、文書として残らば將來何らかの役に立つべしとなむ思ひをり。

文中敬稱略

引用口語文の表記は地の文に統一

(平成二十九年二月二十一日受附)